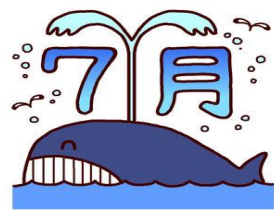




ピーコック通信



毎日蒸し暑く、梅雨明けが待ち遠しいですね。九州や岐阜、長野県での豪雨による被害が深刻ですね。コロナ対策をしながら避難生活をされている方もたくさんいらっしゃるようです。一日も早く平穏な毎日が戻るように祈るばかりです。私たちも、災害が起きた時どんな行動をとるべきか、家族や友人と話し合っておく必要がありますね。

さて、今月のフォローアップ研修は「看護過程」です。看護学生るときには嫌というほど（笑）関連図、アセスメント、計画立案で何枚もの書類を作成してきた私たちですが、現場に出れば紙面よりも頭の中で思考を巡らせて即行動に移す事が要求されます。①効率よく、ポイントを押さえて情報収集する事②知識を高めてアセスメント能力を向上させること③原因によって、患者の背景によって介入方法を工夫すること。がポイントです。講義では、データベースを活用しながらポイントを絞って情報収集する方法などを紹介しました。ペーパーパシエントをもとに看護介入を考え、グループワークで共有しました。病態、他職種の役割、介護保険制度などの知識が増えれば、アセスメントも深まり看護介入のレポーターも増えることが実感できたと思います。

新人がどんな思考過程を経て看護介入に至ったのか、日々の指導の中で共に振り返る機会をたくさん作っていただくと嬉しいです😊



実習でやった情報収集を忘れていませんか？
様々な側面から患者を捉えようとしているかな？

「ゴードンの11の枠組み」や「ヘンダーソンの14の構成要素」などは看護データベースで代用しよう！



疾患のアセスメントにとどまらず、症状からくる患者の苦痛や生活様式・ADLの変化に目を向けてみよう。そこに介入することが「看護」だよ！



身体的・心理的・社会的側面…
思い出したかな？

